



安全・適正就業だより

第 29 号
平成 28 年 8 月 19 日

☆☆

「安全就業推進大会」が開催されました。埼玉県シルバー人材センター連合

平成 28 年 7 月 1 日、埼玉県民活動総合センターにおいて行われ、秩父から木村清委員長・清川秀幸副委員長・小栗勉委員・引間範治委員・嶋田（事務局）の 5 名が参加しました。

1 春日部市・久喜市事例発表の主な内容

①春日部市シルバー人材センター（全シ協・28年度優秀賞受賞）



- ・安全巡回 月 2 回（一回に 3 か所を巡回する）
- ・毎月 20 日を「安全の日」とし、お客様の信頼を得る
- ・26年度より安全講習会を「安全研修会」に変えて、各班より活動の発表やヒヤリ・ハット体験などの発表を行っている。
- ・ドライブレコーダーの取り付け（トラック 6 台）・健康教室の開催
- ・事故があった場合必ず報告書（状況の分かる略図添付）を提出し、安全委員会がヒアリングを行う・イエローカードの発行

②久喜市シルバー人材センター

- ・26年10月に起きた転落死亡事故についての説明。
- ・生垣の刈込中に脚立から転落し、フェンスにかけてあった刈り込みバサミが左足大腿部に刺さり出血性ショックで死亡した。
- ・安全研修会の実施（就業する全会員対象、約 800 名）
- ・植木剪定作業、草刈り作業安全講習会の実施（年 2 回）・新入会員の研修
- ・上記以外の安全研修会（27年度は 7 回実施）
- ・保護帽、安全帯着用の徹底
- ・充実した安全パトロールを実施し適切な指導を行う・複数人作業の徹底
- ・安全基準の徹底方法の研究



③基調講演「シルバー人材センターにおける安全就業対策」

講師 田原労務管理事務所（元労働基準監督署監督官） 田原さえ子

- 安全対策の基本は、 ・明るく前向きに ・参加型で
- 勇気と向こう見ずは違う
 - ・臆病者と言われる勇気をもて（ヒヤリ・ハットの体験を反省しても恥じないで）
- KY活動（危険予知活動）とKYT活動（危険予知トレーニング）
- 「人から言われたことより、自分で気づいたことの方を守る」、意識を高める研修会や巡回指導も一方的な指導より、「自ら気づかせるような話し方・進め方・内容」が基本であり大切である。

2 研修会に参加して

事例発表した二つのセンターは、安全就業についてよく研究し実行されている。特に久喜市シルバーの発表は危機感が感じられる内容だった。とにかくマンネリ化しがちな活動から一歩踏み出し、少しでも事故を減らすために委員自身が研修を行い、危険個所を的確に指摘できるなど、資質の向上が必要だと思いました。

○秩父でも直ぐにできそうなこと

- ・トラックへ（作業車）ドライブレコーダーを取り付ける・安全の日の制定
- ・安全講習会（含む研修会）などを、行い安全意識を高める

標語の募集

9月11日、シルバー祭の会場で、「安全・適正就業」に関する標語を募集いたします。仕事をしている時のこと、自動車や自転車を運転している時のこと、その他安全に関することでしたら内容は自由です。応募用紙を会場に用意してありますのでお気軽にご参加下さい。安全適正就業委員会

巡回視察報告

事故0を目指して

7月4日、札所2番へ行く市道の草刈り作業現場を巡回しました。会員が約30メートル間隔にはなれ、自分の持ち場が終了したら上がって行き次の場所の草を刈る方法で行われていま



した。一般車の通行は殆どなく「小石の飛散」による物損事故の心配も少ない現場でした。気温の高くなる時期、加えて服装装備・ヘルメット・防塵メガネまたは顔面防護ネットの装着などがあり、一層「熱中症」の危険性が高まります。外で作業を行なう場合は、十分健康に注意して就業しましょう。



平成28年度総会において**安全、適正就業委員の改選**が行われ次の通り

になりました。秩父市シルバー人材センターから事故を無くすため、就業先の巡回視察や関係情報の提供を行っていきますので一層のご協力をお願い致します。

- ・委員長 木村 清 ・副委員長 石嶋 善司 清川 秀幸
- ・委員 楮本 茂 小栗 勉 引間 範治 鈴木 忠夫 金澤 文子

※27年度を以って、次の委員が退任されました。

本橋 百子 石井 福夫 荒船 豊美 ご苦労さまでした。有り難うございました。

編集後記

暑いですが、水分はこまめに・休憩は早めにとって就業しましょう。

※身近な記事を掲載しています、是非一読ください。

秩父市野坂町1-13-14、電話 0494-22-4454

秩父市シルバー人材センター、安全・適正就業委員会

